



平成29年9月29日

本市企業、中国土壤汚染浄化プロジェクト（2億円規模）を獲得！ ＝北九州市大連事務所、アジア低炭素化センターの支援結実＝

この度、市内企業の北九環境投資有限会社が参画する国際コンソーシアム（企業連合）が、中国・大連市の土壤汚染浄化プロジェクトを受注しました。

同社は北九州環境ビジネス推進会※1の会員企業で、土壤浄化剤の販売を手掛けており、顧客からの相談を受け、専門的な解決方法を提案する一貫したサービスを展開し中国での活動を積み重ねてきました。

本市においても、地元企業が有する技術で、アジアの環境改善に貢献するため、大連・上海の北九州市経済事務所をはじめ、アジア低炭素化センターが中心となって同社の中国展開を支援してきました。

同社によると、受注の背景には本市と大連市の友好都市の関係をもとに長年、培ってきた環境協力がベースとなり、事業展開の場を大連に求めた同社の活動を本市環境局アジア低炭素化センター、現地の大連事務所のきめ細かなサポートで結実に至った、とのこと。

今後も、本市の企業が有する優れた技術を活かしてアジア地域の環境問題の解決に貢献するとともに、市内企業の海外展開を促進するため、アジア低炭素化センターは一層の支援を行っていきます。

■プロジェクトの概要 ※詳細は、添付資料を参照ください。

中国・大連市の農薬工場跡地の汚染土壤を修復するプロジェクト。

北九環境投資有限会社は平成26年から大連市及び大連市の環境産業団体等と意見交換を行い、その後同プロジェクトへの参画に向けて中国企業とコンソーシアムを構築した。

今年6月、入札結果が公表され、当該コンソーシアムが落札したもの。

同社は、本市が中小企業の海外展開を支援するメニューである「中小企業アジア環境ビジネス展開支援事業」の助成金をH25年、H29年と受けており、こうしたメニューを活用したことが中国事業の成果につながった。

※1 北九州環境ビジネス推進会（KICS（キックス））

北九州市内の環境産業関連企業で構成される団体（<http://kics-web.jp/>）

【お問い合わせ先】

概要について

北九州市環境局環境国際戦略課アジア低炭素化センター（TEL:093-662-4020）

課長:櫛山、係長:加藤

プロジェクトの詳細について

北九環境投資有限会社（TEL:093-600-0498） 代表取締役 吉田

プロジェクト概要

名 称：瑞澤農薬工場跡地汚染修復工事

目 的：瑞澤農薬工場跡地に存在する重金属や揮発性有機化合物等の有害物質を無害化するプロジェクト。同跡地は、住宅地として整備する予定のため、非常に高度な処理が求められている。

対象面積：約10万m²

※ 土壌約14万m³、地下水約2万m³の修復が必要となる見込み

除去物質：重金属、VOCs（揮発性有機化合物）、SVOCs（半揮発性有機化合物）、PAHs（多環芳香族炭化水素）

発注者：大連金普新区政府（中国の国家機関）

落札時期：2017年6月（2017年8月正式契約）

落札企業：博天环境集团股份有限公司

施工企業：北九環境投資有限公司*が中心になり中国で組織したコンソーシアム

※ 北九環境投資の役割

- ① 使用する薬剤（重金属処理薬剤）など資材の提供
- ② 現地での薬剤使用にかかる施工監理
- ③ 土壌・地下水浄化にかかる助言・指導

使用薬剤：ハイドロタルサイト系不溶化材（新日鐵住金グループが開発。1千トン～2千トン程度の使用を想定）など

* 北九環境投資（有）は、現地子会社「上海速宜環境科技有限公司」を通じて中国での業務を展開。同社の技術顧問には、北九州市立大学国際環境工学部伊藤洋教授が就任している。